

令和4年度 白川村 新型コロナウイルス感染症対応事業 実施状況及び効果検証シート

No.	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要【実施計画書から抜粋】 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	A					実施内容	効果・検証	課題等	
							補助対象 事業費	B 国庫補助額 (円)	C コロナ交付金 充当額 (円)	D 起債額 (円)	E 一般財 (円)				F その他 (円)
合 計							70,862,428	-	33,913,000	-	16,064,428	20,885,000			
1	単	白川郷宿泊割引キャンペーン事業	観光振興課	① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた宿泊業者に対し、観光協会の宿泊予約サイトから宿泊予約する国内観光客へ、宿泊割による通常価格の50%引き(上限5000円引き)で部屋を提供することにより、誘客促進及び喚起支援を図る。 ② 事業実施に係る業務委託料 ③ 観光客	R4.6	R4.9	12,222,680	-	5,892,000	-	6,330,680	-	・白川郷観光協会の宿泊予約サイトから宿泊予約した場合、通常価格の50%引き(上限5000円引き)を実施。閑散期の、誘客促進及び喚起支援を目的に年2回実施した。 ・1回目：令和4年6月16日～令和4年8月31日開催、2,467名利用 ・2回目：令和5年2月1日～令和5年3月31日開催、1,228名利用 ・利用総数：3,695名	キャンペーンを通じて、3,965人の宿泊者を誘客することが出来たと共に、白川郷観光協会を通じて村内の宿泊事業者がインターネット上で宿泊予約を取る体制が整った。	コロナ禍における誘客促進としては一定の効果を得たが、安価な宿泊料金や地域通貨などのポイント負荷に観光客が慣れてしまったため、このような支援事業が終わった後の誘客促進のあり方を練る必要がある。
4	単	白川村を元気にするプレミアム付商品券事業	観光振興課	① 新型コロナウイルス感染症の影響等による原油価格・物価の高騰により、移動手段が車が主である本村においては、日常生活への影響が極めて大きいため、住民への生活支援と地域内消費喚起を促すため、商品券の発行を実施する。 ② 10,000円×3冊×1,530人(生活支援)＝45,900千円 必要経費 1,480千円 ③ 村民	R4.6	R5.2	42,779,341	-	16,074,000	-	5,820,341	20,885,000	コロナ禍における原油価格や物価高騰に直面している村民の生活支援と地域内の消費喚起を促すため4,177冊の商品券を発行した。	プレミアム率の高い商品券の発行によって、村民への生活支援と村内限定の商品券で地域経済の回復と消費喚起につなげた。	全村民が利用できるよう準備したが購入率は91.5%。換金率は98.9%であった。どちらの数値も高く、商品券事業の目的であった村民の生活支援と地域内の消費喚起につなげることができた。
5	単	白川村くらし応援商品券事業	観光振興課	① 新型コロナウイルス感染症の影響等による原油価格・物価高騰から住民の生活を守るため、また特別豪雪地域である本村では、これから向かえる冬期間に備えるべく、商品券での支援を実施し、全村民に対して家計への負担軽減を図る。 ② 1,550人(R4.10.1現在1,524)×10,000円＝15,500千円 必要諸経費(消耗品・通信運搬費・委託料)2,000千円 ③ 全村民	R4.11	R5.3	15,860,407	-	11,947,000	-	3,913,407	-	コロナ禍における原油価格や物価高騰に直面している村民のくらし応援と地域内の消費喚起を促すため1,510冊の商品券を配布した。	商品券を村民一人1冊配布することによって、くらし応援と地域内の消費喚起につなげた。	配布した商品券の換金率は、98.7%と高く、商品券事業の目的であった村民のくらし応援と地域内の消費喚起につなげることができた。